

第2次「宮っこ 子育て・子育て応援プラン」の目標指標等について

◎ 趣旨

第2次「宮っこ 子育て・子育て応援プラン」(以下、「新プラン」という)の目標指標等について協議するもの

1 計画全体の目標指標

(1) 目標指標

「合計特殊出生率」から「希望出生率」へ

⇒ 「結婚や出産、子育てに希望を見出せるとともに、主体的な選択により、若い世代が希望する時期に結婚でき、かつ、希望するタイミングで希望する数の子どもを基本的な目標とするべき」との国の提言を受け、本市の基本理念実現のための目標とする。

(第3回子ども子育て会議(R1.10)資料)

基本理念が実現された姿として、子育て施策全体を評価するため、「第6次宇都宮市総合計画」、「宇都宮市SDGs未来都市計画」との整合などを踏まえ、「宇都宮市で子育てをしていきたいと思う親の割合」を指標として検討する。

(2) 目標値

最終年次である令和11年に1.72以上を目指す。

⇒ 基本理念の実現を目指す長期的視点、「第6次総合計画」との整合

2 基本目標の指標・目標値

市民の主観的な指標である満足度と客観的な指標である成果指標により効果的に指標を管理できる現行プランの組み合わせ(「市民満足度」と「成果指標」として、継続的に評価・進捗確認を把握する。

「市民満足度」⇒更なる上昇を目指し設定(過去実績の上昇割合を見込む)

「成果指標」⇒現行プラン指標の課題を反映した目標に設定

基本目標	区分	指標	目標値 (H30⇒R6)
I	満足度	「子ども・若者の健全育成環境」に関する取組に満足している人の割合	33.3%⇒39.3%
	成果	青少年総合相談の受付において、支援機関につなぎ、支援が開始されるなど、相談が完結した人数	年間39人⇒年間57人
II	満足度	「子育て支援」に関する取組に満足している人の割合	29.9%⇒34.7%
	成果	3月1日現在の待機児童数	各年0人
III	満足度	「子どもを守り育てる支援」に関する取組に満足している人の割合	26.1%⇒35.1%
	成果	ファミリーサポートセンター会員数	2,716人⇒3,100人

3 基本施策の重点事業と目標指標

(1) 重点事業別紙1

基本施策の推進をけん引する事業などを重点事業として位置付ける。
また、貧困対策プロジェクト内に重点事業を位置付ける。

(2) 目標指標

基本施策の達成状況を把握しながら、施策・事業の最適化を図るため、重点事業などを中心とした指標を設定する。